

横浜市立 奈良の丘小学校

学校評価報告書

( 令和 7 ~ 9 年度 )

| 重点取組分野               | 令和 7 年度                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                   | 総括 |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                      | 具体的取組                                                                                                                                                                                                           | 自己評価結果                                                                                                                                                                                            |    |
| 授業力向上                | 主体的に児童自らが興味をもち、自分事として捉え、粘り強く考え説明し合えるように、算数科の重点研究を進め、問題を解決する力を養う。見方や考え方を働かせ、資質・能力を高めるために、問題解決に向けて見通しをもち、協働して学べる手立てを考え取り組んでいく。                                                                                    | じっくり考え、高め合い、次につなげる確かな学びという研究主題に向けて、今年度は算数科に重点を置き、12回の授業研究を行い、講師の助言を参考にしてよりよい教師の声かけや手立てを考えることができた。授業研だけでなく、日々の授業に生かしていくことが課題として残った。                                                                | B  |
| 道徳教育                 | 児童の「なかよし委員会」を活用し、より児童主体のたてわり活動にし、異学年のつながりが深まるように計画、実践していく。地域とふれあい「人」とのつながりを大切にした学習活動を継続、推進していく。③道徳教育の充実を図り、「礼儀」「向上心」など重点的課題に取り組んでいく。                                                                            | 今年度も、たてわり活動を通して異学年のつながりが深まった。高学年の児童がスムーズに司会進行を行い、下学年の児童が楽しんで活動に参加していた。生活科や総合的な活動の時間などにおいて、地域の方々と交流が図れた。担任や児童指導専任が道徳授業を行い、重点的課題に取り組んだ。                                                             | B  |
| 健康教育                 | ①子ども一人ひとりが健康診断や体力・運動能力調査の分析に基づいて、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培う。体を動かすことだけでなく、心の健康についても触れていく。②運動委員会を中心に、運動に関わる集会や週間を定期的に行ったり、全校期会や朝の会で体操に触れることで楽しく体を動かす機会を設定し、日常的に運動に取り組む態度を養う。                                             | 児童の中で、健康診断や体力・運動能力調査の結果に基づいて規則正しい生活を送ろうという意識は正直そこまで見られない。学校保健委員会で早寝早起き朝ごはんを取り上げたことで、体や心の健康につながることの理解はできたと思う。朝会や朝の会で体操に積極的に触れてきて、その大切さは日常的に伝えてきているつもりだが、クラスによって取り組む頻度にはばらつきがある。                    | B  |
| 自分づくり教育<br>社会参画      | 地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で一人ひとりの自己有用感を高めるようにする。学年に応じて、地域の人たちが関わる学習活動を行い、働くことの意義を考えられる場を設定する。総合学習を中心に地域の材を積極的に活用していく。                                                                                         | 生活科・総合的な学習の時間を通して、地域の方や地域のお店と積極的に関わる活動を取り入れた。これまで関わりのなかった施設ともつながりが見られ、地域の材の活用が広がっている。そのような関わりの中で一人ひとりの自己有用感を高める手立てを教師側がより高めていくことが今後必要になってくる。                                                      | B  |
| いじめへの対応              | ①学校の「いじめ防止基本方針」について全職員で共通理解し、いじめの未然防止に努めると共に、いじめに対して全職員が「絶対に許さない」姿勢でチームとなって対応していく。②アンケートや個人面談など様々な機会を通して、いじめの早期発見、早期対応に努める。(月1回のいじめ防止対策委員会の開催)                                                                  | あかね台中学校ブロックで「いじめ防止基本方針」の改定に向けて、共通の取組について検討を重ねてきた。また、いじめの定義について全職員で確認し、いじめをしない、させない、見逃さないの合言葉のものと いじめの未然防止、早期発見、事案対処に取り組んできた。月1回のいじめ防止対策委員会を実施した。                                                  | B  |
| 人材育成・<br>組織運営(働き方)   | 5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心に月1回の活動を継続して行う。ICT機器を活用し、効率的に物事に取り組んでいく。各支援員と仕事を分担し、教員が授業や児童に関わることに集中できる環境づくりを行っていく。                                                                                         | 毎月1回、計画的にメンターチームの活動を継続して行った。授業研究を行ったり、外部講師を招いたりして、お互いの授業力等を高めていった。ICT機器や各種アプリ、グループウェア等を整備し、よりよく授業や事務作業ができるように整備をした。ICT支援員とも連携をとり、よりよい活動につなげた。                                                     | B  |
| 特別支援教育               | ①児童支援委員会や学年研の中で、あたたかい配慮を必要とする児童についての情報交換を行い、情報の共有をし、多くの視点から具体的な支援について検討する機会を設ける。②特別支援教育コーディネーター活用を推進し、具体的な支援について検討したり、特別支援教室を運営・活用したりする。                                                                        | あたたかい配慮を必要とする児童について学年やブロックで情報共有をし、特別支援コーディネーターが中心となって支援方法を検討を重ねてきた。また、保護者とも密に情報共有をし、児童にあった支援の仕方について合意形成をしてきた。必要に応じて特別支援教室を活用し、継続して支援をおこなってきた。                                                     | B  |
| 児童生徒指導               | ①「奈良の丘スタンダード」を全職員が共通理解し、全職員が同じルールで指導にあたる。②学年研・ブロック研・児童支援委員会などを通じて、児童の様子について情報交換を行い、児童理解を深め、チームで継続的に児童を見守っていく。③小中連携を見据えた指導・支援にあたる。                                                                               | 全職員が同じルールで指導に当たれるようにしてきた。特に週1回の児童情報共有の時間を使い、細かなルールや指導方針について足並みを揃えられるように話し合いを重ねた。また、児童の様子を共有することで、全職員が同じ声かけや支援ができるようになった。                                                                          | B  |
| 地域学校協働活動             | 地域行事等、学校が協力できることを考え、児童や職員が積極的に参加できるようにする。地域コーディネーター、奈良の丘サポート、や学習ボランティアの方とともに、環境整備や学習・登校支援を継続して行える体制と充実を図る。より良い学校づくりのため、学校運営協議会を充実させ、意見交換を行う。                                                                    | 可能な範囲で地域の夏祭りや防災活動に職員が参加し、地域との交流を深めた。これまで以上に地域コーディネーター、奈良の丘サポート、学習ボランティアの方と連携を密に取り、学習に生かしていった。特に、生活・総合では、地域との関わりを深めた。また、学校運営協議会でも、意見交換を積極的に行った。                                                    | B  |
| GIGAスクール構想           | 学力向上と学習内容の充実のためにiPadの有効活用を推進する。ICTを活用した外部への発信やICTを活用することによる校内業務の円滑な運営を図る。タブレット端末の持ち帰りを全校で行い、よりよい活動につなげていく。また、情報モラルについても、より丁寧に指導を行っていく。                                                                          | 普段の授業からアイパッドを使い、ロイロノートでの情報共有や話し合い活動などを行った。また、ネットを通じた情報収集、写真や資料などの情報を活用した資料作成など、総合的にIPAD、ロイロノート、ネットの有益性を取り入れた学習を行った。2年生以上は家庭への持ち帰りをを行い、宿題をロイロを通じて行った。情報モラルについては4月には情報部から各家庭、児童へ、さらに常時担任から児童へ伝えている。 | B  |
| ブロック内<br>評価後の<br>気付き | 小中の教員同士で教科ごとに9年間の学びの系統性について話し合い、小中で共通意識をもつことができた。横浜市学力・学習状況調査の結果をブロック内で共有することで、ブロック内のよさや課題を理解することができた。小学生と中学生との交流を深めることで、小6の児童が中学校へ不安なく進学できるようになっている。授業や指導の方向性などを共有はできるが、中学校と小学校の実態により、実際に同じように行っていくのは難しい部分がある。 |                                                                                                                                                                                                   |    |
| 学校関係者<br>評価          | 中期学校経営方針に対し、地域の方からは教育活動が全体として良好であるとの評価をいただいた。一方で、いじめの未然防止をさらに進めるためには、地域全体で挨拶を交わす関係づくりを深めること、また保護者が学校教育活動へより積極的に関わることが重要であるとの提言があった。これらの意見を受け、学校・家庭・地域が一体となった取組の充実を図っていく必要があると考えている。                             |                                                                                                                                                                                                   |    |

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中期取組<br>目標<br>振り返り | 令和7年度は「だれもが安心して豊かに学べ、まちと共に歩む学校」を目指し、授業改善・生活指導・地域連携を進めた。算数科の重点研究では、子どもが粘り強く考え、伝え合う姿が広がったが、日常授業への更なる還元が課題である。縦割り活動や地域と関わる学習を通して自己有用感が高まり、異学年交流も深まった。いじめ防止では職員間の共通理解が進み、早期発見の体制を継続した。ICT 活用も定着しつつあるが、活用の質の平準化が求められる。これらを踏まえ、次年度は授業改善の深化と支援体制の強化を図り、子ども一人ひとりの学びと成長をより確かなものにしていく。 |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 重点取組分野               | 令和 8 年度 |        | 総括 |
|----------------------|---------|--------|----|
|                      | 具体的取組   | 自己評価結果 |    |
| 授業力向上                | b1      |        |    |
| 道徳教育                 | b2      |        |    |
| 健康教育                 | b3      |        |    |
| 自分づくり教育<br>社会参画      | b4      |        |    |
| いじめへの対応              | b5      |        |    |
| 人材育成・<br>組織運営(働き方)   | b6      |        |    |
| 特別支援教育               | b7      |        |    |
| 児童生徒指導               | b8      |        |    |
| 地域学校協働活動             | b9      |        |    |
| GIGAスクール構想           | b10     |        |    |
| ブロック内<br>評価後の<br>気付き |         |        |    |
| 学校関係者<br>評価          |         |        |    |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 中期取組<br>目標<br>振り返り |  |
|--------------------|--|

| 重点取組分野               | 令和 9 年度 |        | 総括 |
|----------------------|---------|--------|----|
|                      | 具体的取組   | 自己評価結果 |    |
| 授業力向上                | c1      |        |    |
| 道徳教育                 | c2      |        |    |
| 健康教育                 | c3      |        |    |
| 自分づくり教育<br>社会参画      | c4      |        |    |
| いじめへの対応              | c5      |        |    |
| 人材育成・<br>組織運営(働き方)   | c6      |        |    |
| 特別支援教育               | c7      |        |    |
| 児童生徒指導               | c8      |        |    |
| 地域学校協働活動             | c9      |        |    |
| GIGAスクール構想           | c10     |        |    |
| ブロック内<br>評価後の<br>気付き |         |        |    |
| 学校関係者<br>評価          |         |        |    |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 中期取組<br>目標<br>振り返り |  |
|--------------------|--|